

2026年5月14日

今般の日本関係船舶のホルムズ海峡出域について

一般社団法人 日本船主協会
会長 長澤 仁志

去る4月29日にホルムズ海峡を通峡した日本関係船舶1隻に続き、今般、新たに日本関係船舶1隻が船員・積荷とともに無事通峡し、原油を日本に輸送できる運びとなりました。

日本政府のご尽力を重ねて厚く御礼申し上げます。

引き続き、ペルシャ湾内には日本関係船舶39隻と約1,000人の船員が留め置かれておりますので、我が国海上輸送を担うこれら全ての船員と船舶が、一刻も早く安全かつ円滑に同湾を脱出できますようご支援を切にお願い申し上げる次第です。

繰り返しになりますが、外航海運産業の大前提は、「平和な海」です。

一日も早くホルムズ海峡の自由で安全な通航が回復し、私どもが日本の皆様の暮らしと経済に貢献できる状況となりますよう、引き続きのご理解とお力添えをよろしくお願い申し上げます。

以上